

## 11月1日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●プーチン演説「最も危険な 10 年を前に」歴史的な転換点(原伸一、2022 年 10 月 30 日)

<https://www.youtube.com/watch?v=I6JKx1VwwaI>

※安齋注:プーチン大統領が 10 月 27 日にモスクワ郊外で行われた国際討論クラブ「ヴァルダイ」において演説した内容はすでにお伝えしたところですが、フォークシンガーの原伸一さんが分かり易く解説していますので、紹介します。プーチン大統領の演説 10 傑に入るとも言われているスピーチです。



### ●動員兵士を見送るタートルスタンの人波(2022 年 10 月 29 日)

<https://twitter.com/tobimono2/status/1586061948902219776?t=LiQ3BONuEznMsScJxX1B0A&s=09>

動員された人達をのせたバスから撮られたと思われる映像。

タートルスタン共和国ニジネカムスクでは、動員された人達を、地元住民が旗を持って通りに出てきて見送った。

10 月 28 日、ショイグ国防相はプーチン大統領に、30 万人という動員目標を無事達成したことを報告した。



### ●アメリカの新たなウクライナ支援(2022 年 10 月 29 日)

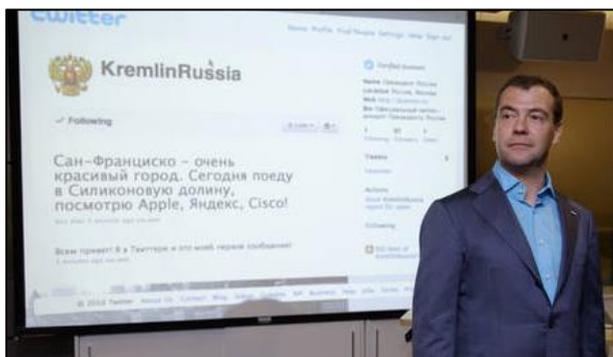
米国防総省はウクライナに対し、HIMARS 用弾薬、砲弾、HUMVEE 装甲車、小火器を含む 2 億 7500 万ドルの新たな軍事援助を発表した。



## ●メドヴェージェフ氏、イーロン・マスクにメッセージ(2022年10月29日)

メドヴェージェフ氏、Twitter でイーロン・マスクの「幸運」を祈る。

「億万長者はこれから政治的偏見やイデオロギー的独裁といった課題に直面することになる」。



## ●ガルージン駐日ロシア大使、離任へ(2022年10月29日)

駐日ロシア大使を務めるミハイル・ガルージン氏が離任することが分かった。28 日夜、関係者がスマートフォンからの取材で明らかにした。関係者は次のように語っている。

「ミハイル・ガルージン駐日大使は、11月に駐在を離れる。後任者の来日の時期は調整中である」



## ●ロシア外務省のフェイク・プロパガンダ防止映像(2022年10月29日)

※安齋注:ロシア外務省が作った「フェイクに騙されるな」映像です(2022年10月29日)

<https://youtu.be/wrXNKIIetCQ>



## ●FoxNews タッカー・カールソン「本当にガッカリだ、どんだけバカなんだよ」(2022年10月27日)

中間選挙と大統領選をトランプとプーチンが共謀して盗む、という陰謀論をいまだに言っているヒ

ラリー・クリントン。ロシアとの核戦争を支持する共和党員。一方だけが選挙結果に疑問を呈することが許される状況にタッカー・カールソンがブチギレ。

※安齋注:ウクライナ問題には直接の関係は希薄だが、アメリカ民主主義なるものが直面している現実の一局面です。「ヒラリーは、どうしてトランプが大統領選を盗んだなんて一方的に避難するんだ。民主党がどうやってあんなに票を集めたのか、これだって立派な疑問だ!」。この人は時々、「カッカー・イカールソン」になります。

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1585641836793958407?t=nrlZL4h792qzTo5nfTXAsQ&s=09>



### ●平和を求めつつ、武器を送るフランス(2022年10月27日)

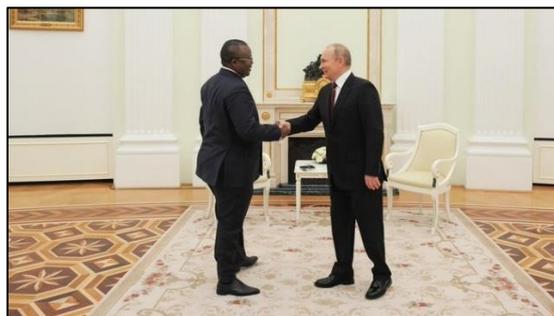
ロシア外務省ザハロフ報道官:「マクロンは、片手をバチカンに伸ばし和平調停を依頼する一方で、自らの手で請求書を書き、紛争地域のキエフ政権に武器を供給する命令にサインした。平和を求めるか武器を求めるか決断する必要がある」



### ●ギニア大統領の個人プレー(2022年10月27日)

ギニア大統領はウ側に対して、プーチン大統領が話し合いに前向きであることを伝えたという。パスコフ報道官は「ギニア大統領が自らの意思でモスクワの立場をキエフに伝えた」と述べた。

ロシアはギニア大統領に、ゼレンスキーに何か特別なメッセージを伝えるよう依頼しなかったと、と発表した。



## ●ダーティボム(汚い爆弾)最新情報(2022年10月27日)

- 国防相ショイグはインドと中国に電話
- IAEA がロシアが指定した 2 か所の原発を数日以内に視察予定らしい。
- 左の画像は RT ニュースの翻訳



ロシア政府：ダーティボムの件をロシアがさらした事でウクライナ政府はパニックに

ロシア国連大使：

- ・ウクライナ政府は慌ててダーティボムのプログラムを棚上げしている兆候が複数見られる。
- ・ロシアの情報拡散により、ウクライナのテレグラムチャンネルで大きな騒ぎになっているのが分かる。
- ・IAEAが到着するまでに十分証拠隠滅はできるだろう
- ・ダーティボムは簡単な作りなので、IAEAの視察の後にまたプロジェクトを始める可能性は否めない

🗨️ とりあえずすぐさま使える感じではなくなったみたいだ。

🇷🇺🇮🇳 On 26 October 2022, Minister of Defence of the Russian Federation, General of the Army Sergei Shoigu, has held telephone talks with Indian Defence Minister Rajnath Singh.

They discussed situation in Ukraine. General of the Army Sergei Shoigu conveyed to the Indian counterpart his concerns about possible provocations by Ukraine with the use of a 'dirty bomb'.

インド防衛大臣

@mod\_russia\_en

👍 246 🗨️ 31 🍷 21 🤖 6 🔥 5 🙏 1 4 👁️ 18:50

🇷🇺🇨🇳 On 26 October 2022, Minister of Defence of the Russian Federation General of the Army Sergei Shoigu has held video conference with Chinese Minister of National Defense General Wei Fenghe.

They discussed situation in Ukraine. General of the Army Sergei Shoigu conveyed to the Chinese counterpart his concerns about possible provocations by Ukraine with the use of a 'dirty bomb'.

中国国家防衛大臣

👍 209 🗨️ 25

5.2K 👁️ edited 19:15

## ●ウクライナ大統領選、第1位のコメディ俳優ゼレンスキー氏とは？(2019年3月30日)

<https://youtu.be/rH7pSs9l4g>

ウクライナで 2019 年3月30日、大統領選挙が行われ、出口調査ではコメディ俳優のヴォロディミル・ゼレンスキー氏が 30.4%で第1位となった。

ゼレンスキー氏はテレビ番組で大統領を演じたことがあるが、政治キャリアはない。

2位は現職のペトロ・ポロシェンコ氏で 17.8%。

過半数の支持を得た候補者がいなかったため、ゼレンスキー氏とポロシェンコ氏は4月21日に決選投票で争う予定だ。 → その結果、70%以上の支持を得て大統領になった。



## ●2014年のガーディアンの記事(2014年5月13日)

<https://www.theguardian.com/commentisfree/2014/may/13/ukraine-us-war-russia-john-pilger>

ウクライナで、米国はロシアとの戦争に我々を引きずり込もうとしている。

(この記事は8年以上前のものです)

John Pilger

ウクライナにおけるアメリカの役割、そして政権のネオナチへの支援は、世界の他の地域にも大きな影響を与える。

なぜ私たちは、私たちの名前で別の世界大戦の脅威を許容するのでしょうか？なぜ、この危険を正当化するような嘘を許すのだろうか。ハロルド・ピンターは、私たちの洗脳の規模は、まるで真実が「起きている最中にも起こらなかった」かのように、「見事で、機知に富んだ、非常に成功した催眠術のような行為」と書いている。

アメリカの歴史家ウィリアム・ブラムは毎年、「アメリカの外交政策の記録に関する最新の要約」を発表している。それによると、1945年以來、アメリカは50以上の政府(その多くは民主的に選ばれた政府)の転覆を試み、30カ国で選挙に大きく干渉し、30カ国の民間人を爆撃し、化学・生物兵器を使用し、外国の指導者を暗殺しようと試みてきたのである。

多くの場合、英国は協力者であった。世界で最も進んだ通信手段と名目上最も自由なジャーナリズムが存在するにもかかわらず、犯罪性はおろか、人的被害の程度も西側ではほとんど認識されていない。テロリズム-「我々の」テロリズム-の最も多数の犠牲者がイスラム教徒であることは、言うに及ばずである。9.11を引き起こした極端なジハード主義が、英米の政策(アフガニスタンでのサイクロン作戦)の武器として育まれたことは、抑圧されている。米務省は4月、2011年のNATOの作戦を受け、「リビアはテロリストの安住の地となった」と指摘した。

我々の敵の名前は、共産主義からイスラム主義まで、何年もかけて変わってきた。しかし、一般的には、西側勢力から独立し、戦略的に有用な資源が豊富な領土を占める社会、あるいは単にアメリカの支配に代わるものを提供する社会のことである。こうした妨害的な国家の指導者は通常、イランのムハンマド・モセデク、グアテマラのアルベンス、チリのサルバドル・アジェンデのような民主主義者を暴力的に押しのけたり、コンゴ民主共和国のパトリス・ルムンバのように殺害されたりしている。フィデル・カストロ、ウゴ・チャベス、そして現在のプーチンのように、すべての人が西側メディアの中傷キャンペーンにさらされている。

ウクライナにおける米国の役割は、私たちに対する意味合いにおいてのみ異なる。レーガン時代以來初めて、アメリカは世界を戦争に巻き込むと脅している。東ヨーロッパとバルカン半島がNATOの軍事拠点となり、ロシアと国境を接する最後の「緩衝国」であるウクライナは、米国とEUが放ったファシストの力によって引き裂かれようとしているのである。私たち西側諸国は今、ウクライナのナチスがヒトラーを支持した国で、ネオナチを支持しているのだ。

2月にキエフの民主的に選ばれた政府に対するクーデターを首謀し、クリミアにあるロシアの歴史的で合法的な暖流海軍基地の奪取を計画していたワシントンは、失敗した。ロシア人は、ほぼ1世紀にわたって西側からのあらゆる脅威と侵略に対して行ってきたように、自分たちを守った。

しかし、NATOの軍事的包囲網は、米国が組織したウクライナのロシア系住民への攻撃とともに、加速している。もしプーチンを刺激して彼らを助けることができれば、彼のあらかじめ決められた「除け

者」の役割は、ロシア自体に波及する可能性の高い、ナトーが運営するゲリラ戦を正当化することになるだろう。

その代わりに、プーチンはワシントンや EU との融和を模索し、ウクライナ国境からロシア軍を撤退させ、ウクライナ東部のロシア系民族に週末の挑発的な住民投票を放棄するよう促すことによって、戦争当事者を混乱に陥れている。ウクライナの人口の 3 分の 1 を占めるロシア語を話すバイリンガルの人々は、この国の民族的多様性を反映し、キエフから自立し、モスクワから独立した民主的な連邦国家を長い間求めてきた。その多くは、西側メディアが呼ぶような「分離主義者」でも「反乱者」でもなく、祖国で安心して暮らしたいという市民である。

イラクやアフガニスタンの廃墟のように、ウクライナは CIA のテーマパークと化している。CIA 長官のジョン・ブレナンがキエフで自ら運営し、CIA と FBI の数十人の「特別部隊」が「治安維持組織」を立ち上げ、2 月のクーデターに反対した人たちへの野蛮な攻撃を監督しているのだ。今月オデッサで起こった大虐殺のビデオを見たり、目撃者のレポートを読んだりしてほしい。バスに乗ったファシストの凶悪犯が労働組合の本部を焼き、中にいた 41 人が死亡した。



## ●半年前にはフランスのテレビでこんなハプニングも(2022 年)

フランスのテレビで、ウクライナから帰国した婦人が、プーチンを非難するかと思いきや、「ゼレンスキーは酷い大統領」と次々と現政権の実態を喋りだした。「あのパペットは政府批判をした TV 局を 4 つも閉鎖したのよ。批判した記者らも消されたわよ…」

※安齋注:司会者の戸惑いが面白いです。「あなたは民主的に選ばれた大統領のことを批判しているんですか?」「そうよ、他に誰がいるって言うの!」。こういう人がウクライナにいっぱいいる筈なのですが、独裁政権下では全く伝わってきません。



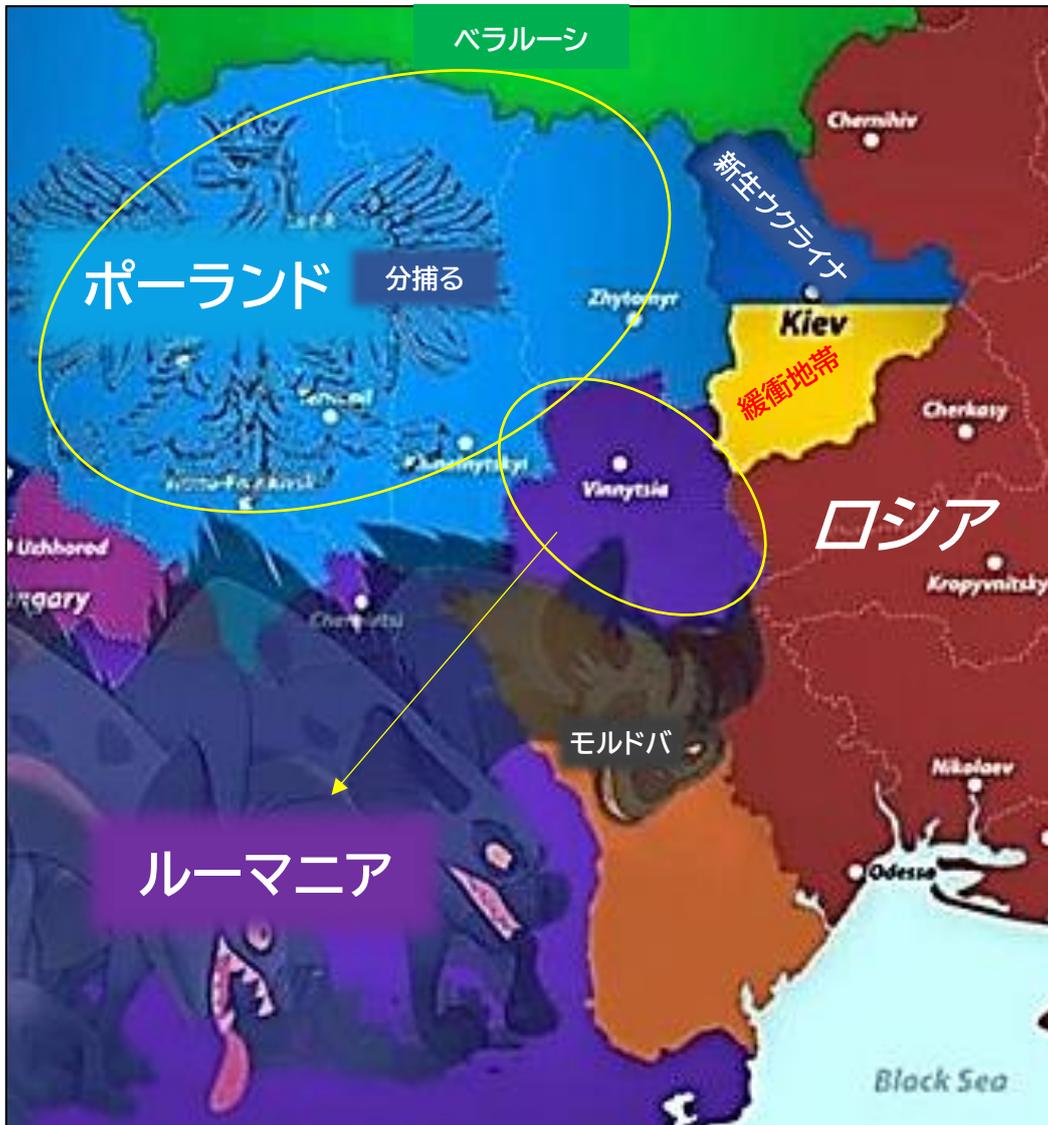
この戦争のルーツは 2014 年に始まったのよ。 何であんな操り人形政権を守らなきゃいけないのよ。

## ●「ヨーロッパのハイエナはすでに腐肉を分割し始めている」(2022年10月30日)

ポーランドの Dziennik polityczny (政治日記)は、ポーランドによるウクライナの分割とそれ

に続くルーマニアとハンガリーによる分割の地図を発行しています。

ロシアは、その作戦のすべての目的を達成した後、南東部のロシア語圏を占領し、ウクライナを陸地に封鎖したままにする。おそらく、北部地域は、ベラルーシの領土とともに、ウクライナと NATO の間に緩衝地帯を作成する。ウクライナの NATO 加盟が拒否された場合、北部地域は新しいウクライナに残される。云々かんぬん…。 ※安齋注:遊び感覚にしても、恐ろしいですね。



●ウクライナ・ナチズムの創始者ステパン・バンデラの誕生日祝い、市民が松明行列を開催(2022年10月31日)

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1586739531352788992?t=xjYVrPvtPXA5FM8Tk35IA&s=09>

